

QuantiFERON® TB ゴールド プラス (QFT-Plus) 使用時の注意 チェックリスト

8

採 血 時

QFT 検査実施の際には、下記の点に特にご注意ください。

■ ヘパリンリチウムもしくはヘパリンナトリウム真空採血管を用いた 1 本採血の場合

チェック項目	チェック欄
1. 使用する採血管の抗凝固剤がヘパリンリチウムもしくはヘパリンナトリウムであることを確認する（注1）。	<input type="checkbox"/>
2. ヘパリンリチウムもしくはヘパリンナトリウム真空採血管の使用期限が切れていないことを確認する。	<input type="checkbox"/>
3. ヘパリンリチウムもしくはヘパリンナトリウム真空採血管の添付文書に従い、血液を採取する。	<input type="checkbox"/>
4. 採血量が5mL 以上であることを確認する。	<input type="checkbox"/>
5. 採血後のヘパリンリチウムもしくはヘパリンナトリウム真空採血管は採血後 3 時間以内に 2~8℃で冷蔵保存する。	<input type="checkbox"/>

注 1: ヘパリンリチウムとヘパリンナトリウム以外の抗凝固剤は IFN- γ 産生への影響がある。

■ 翼付採血セットあるいはシリンジを用いた直接採血の場合

チェック項目	チェック欄
1. QuantiFERON TB ゴールド プラス チューブ (QFT プラスチューブ) の使用期限が切れていないことを確認する。	<input type="checkbox"/>
2. QFT プラスチューブが室内温度 (22 ±5°C) に戻っていることを確認する (注 1)。	<input type="checkbox"/>
3. 翼付採血セットあるいはシリンジを使用して血液を採取する (注 2)。	<input type="checkbox"/>
《翼付採血セットの場合》	
4. QFT プラスチューブで採血を開始する前に他の一般的な真空採血管を用いて翼付採血セットのチューブ内の空気を抜き、血液で満たされていることを確認する (注 3)。	<input type="checkbox"/>
5. 採血時に QFT プラスチューブの位置が上下に動かないようにする。	<input type="checkbox"/>
6. QFT プラスチューブラベルの黒い印の範囲 (0.8~1.2 mL) まで採血された時に QFT プラスチューブをはずす。	<input type="checkbox"/>
《シリンジの場合》	
7. シリンジで採血後、直ちにそれぞれの QFT プラスチューブに黒い印の範囲 (0.8~1.2 mL) まで分注する (注 4)。	<input type="checkbox"/>
8. QFT プラスチューブに分注する際に、QFT プラスチューブのゴム栓を外した場合は、元と同じゴム栓を QFT プラスチューブに再装着する。	<input type="checkbox"/>
9. 血液が採取されたQFT プラスチューブを上下に 5 秒間又は 10 回振って混合し、内表面全体が血液で覆われていることを確認する (注 5)。	<input type="checkbox"/>

注 1: QFT プラスチューブの温度により圧力が変化し、QFT プラスチューブ内の内容物等が患者に逆流するおそれがある。また、採血時の温度が高いと、QFT プラスチューブの分離剤が軟化し、分離剤の成分と血液が混ざり誤った検査結果となるおそれがある。

注 2:ホルダーを使用した直接採血は、採血量が過剰、あるいは過小になることがあり推奨しない。

注 3: 採血は特定の順序で行う必要はないが、通常は、QFT Nil チューブ、QFT TB1 チューブ、QFT TB2 チューブ、QFT Mitogen チューブの順序で行う。

注 4: 分注時は針刺し事故及び血液凝固に十分注意すること。

注 5: QFT プラスチューブを強く振りすぎると、分離剤の成分が血液と混ざり、誤った結果になることがある。

Trademarks: QuantiFERON®, QFT®, QIAGEN®, Sample to Insight® (QIAGEN Group). 本文に記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
 体外診断用医薬品 承認番号: 23000EZ00004000 インターフェロン-γ遊離試験キット QuantiFERON TB ゴールド プラス
 2401101 08/2023 ©2023 QIAGEN, all rights reserved.